

# 九十九里地域水産業振興方針

(2018～2021)

平成30年3月

千葉県銚子水産事務所

千葉県勝浦水産事務所

千葉県銚子漁港事務所

## はじめに

九十九里地域は旭市から長生郡一宮町までの太平洋に面した延長約 66km の九十九里浜が続き、遠浅の砂浜海岸では江戸時代から漁業と水産加工業が盛んに行われています。

当地域ではイワシを対象としたまき網、砂浜域の貝桁網漁業、沿岸でのさし網、船びき網等、河川での漁業・養殖など多種多様な漁業や、また、イワシ等を利用した水産加工業が行われており、水産業は地域の産業として重要な地位を占めています。

しかしながら、当地域においても水産資源の変動等による不安定な漁業経営のため漁業者の減少や、厳しい経営環境にある水産加工業など様々な課題を抱えています。

そこで、これらの課題に対し、九十九里地域の特徴に応じた施策の方向性を示すため本方針を策定しました。本方針に基づき、市町村、水産業者などの関係者と連携を図り、地域の魅力を活かした水産業づくりを目指してまいります。

平成30年3月

銚子水産事務所 所長 小嶋 一隆

勝浦水産事務所 所長 岩崎 晶知

銚子漁港事務所 所長 椎名 正一

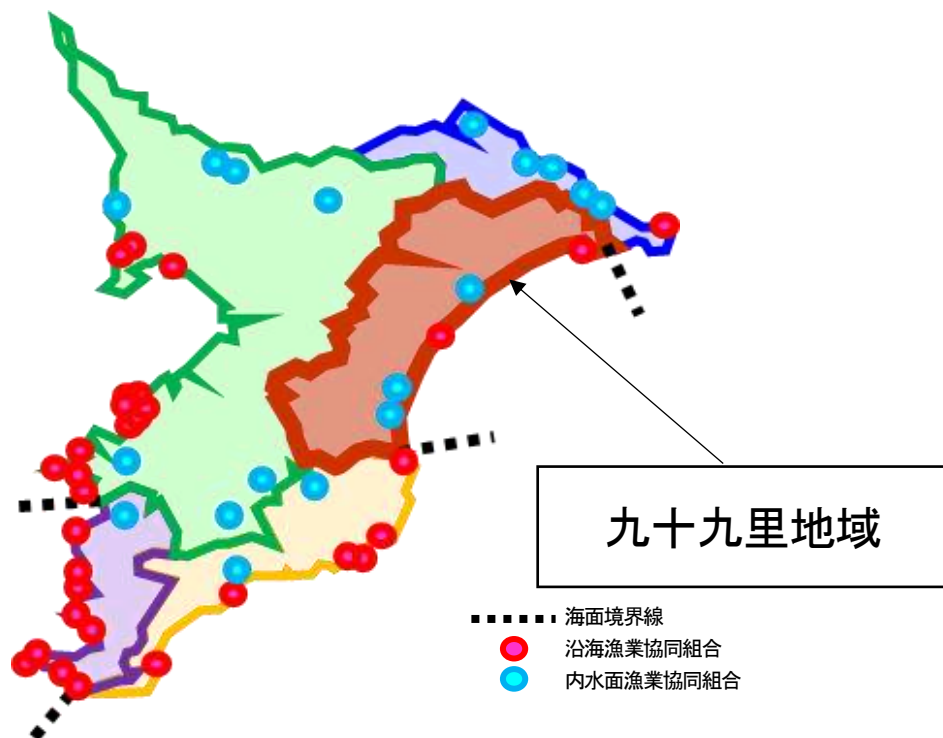


図 地域水産業振興方針対象区域図

## 目 次

1	地域水産業振興方針の趣旨	
(1)	九十九里地域水産業振興方針について	1
(2)	振興方針の目標	1
(3)	振興方針の構成	1
(4)	振興方針の期間	1
2	地域の現状と課題	2
(1)	九十九里地域における水産業の概要	2
(2)	九十九里地域水産業の構造	2
(3)	九十九里地域の現状と課題	6
3	基本方針	9
(1)	九十九里地域の振興方針	9
(2)	主要漁業等の振興方針	9
4	主要施策による地域の主な取組	11
(1)	水産資源の適切な管理と維持増大	11
(2)	収益性の高い漁業経営の推進	12
(3)	流通拠点の整備とマーケット需要を捉えた水産加工の推進	13
(4)	国内に向けた県産農林水産物のイメージアップと需要拡大	13
(5)	千葉が誇る農林水産物の輸出促進	14
(6)	東京オリンピック・パラリンピック大会への対応	14
(7)	次代の農林水産業を支える多彩な経営者の育成	14
(8)	生産性の向上や産地間競争力の強化に向けた生産基盤及び 災害に強い農山漁村の整備	15
(9)	安全・安心な農林水産物の供給と環境保全への対応	16
(10)	農山漁村の多面的機能の維持・発揮	16
(11)	地域資源を活用した都市と農山漁村の交流と6次産業化の推進	17
(12)	内水面の有する多面的機能を活用した地域の振興	17

## 1 地域水産業振興方針の趣旨

### (1) 九十九里地域水産業振興方針について

本方針は、県総合計画「次世代への飛躍 輝け！ちば元気プラン(平成 29～32 年度(2017～2020 年度))」を実現するための具体的な取組を示す「千葉県農林水産業振興計画(平成 30～33 年度(2018～2021 年度))」を踏まえ、九十九里地域の特徴に応じた施策の方向性を示すものです。

### (2) 振興方針の目標

県総合計画及び県農林水産業振興計画においては、産地の戦略的な競争力強化と高収益型農林水産業への転換の促進による「農林水産王国・千葉」の復活と緑豊かで活力ある農山漁村づくりの推進による「農山漁村の活性化」の実現のため、水産業においては“県内漁港水揚金額<sup>\*</sup>全国 3 位”を目標とし、漁業者の所得向上を図ることとしています。

本方針については、上記の目標を達成するため、地域の優位性を生かした儲かる産地強化を図り、九十九里の地域の魅力を活かした水産業づくりのために、市町村、水産関係団体、地域住民などと連携・協力しながら九十九里地域の水産業の躍進を目指します。

<sup>\*</sup>県内漁港水揚金額：県内漁業者・養殖業者及び県外漁船が県内の漁港に水揚げした金額

### (3) 振興方針の構成

本方針は、県農林水産業振興計画の産業振興の「力強い産地づくり」部門の【水産】分野の「水産資源の適切な管理と維持増大」、「収益性の高い漁業経営の推進」、「流通拠点の整備とマーケット需要を捉えた水産加工の推進」の 3 項目を中心に、「販売力強化」及び「農林水産業の成長力の強化」部門並びに地域振興の「地域の特色を生かした農山漁村の振興・活性化」部門に関連した主要 12 項目を施策の柱とし、具体的な対策を推進します。

### (4) 振興方針の期間

本方針の期間は、平成 30 年度(2018 年度)から平成 33 年度(2021 年度)までの 4 年間とし、固定的なものせず地域の水産業を取り巻く状況の変化により、必要に応じて内容の見直し修正を行うものとします。

## 2 地域の現状と課題

### (1) 九十九里地域における水産業の概要

千葉県北東部に位置する九十九里浜では、江戸時代に地びき網によるマイワシ・カタクチイワシ漁が盛んに行われるようになり、漁獲されたイワシ類は加工され、干鰯(ほしか)として日本各地へ肥料として出荷されていました。明治時代に改良型あぐり網漁が発案・導入されて日本全国に普及されたことから近代まき網発祥の地と言われており、古くからイワシ類を対象とした漁業と水産加工業が盛んな地域です。

九十九里地域におけるまき網漁業と水産加工業は、まき網漁船が水揚げしたイワシ類等の鮮魚を水産加工業者が素干しや煮干し等に加工・製品化し、全国に出荷する等、漁業と水産加工業が密接に繋がることで、地域の基幹産業として重要な位置を占めています。

また、九十九里の砂浜域ではチョウセンハマグリ、ダンベイキサゴ等を対象として貝桁網漁業が行われており、他には、はえなわ、固定式さし網、船びき網、ばいかご、一本釣り、小型底びき網など多種多様な漁業が行われています。

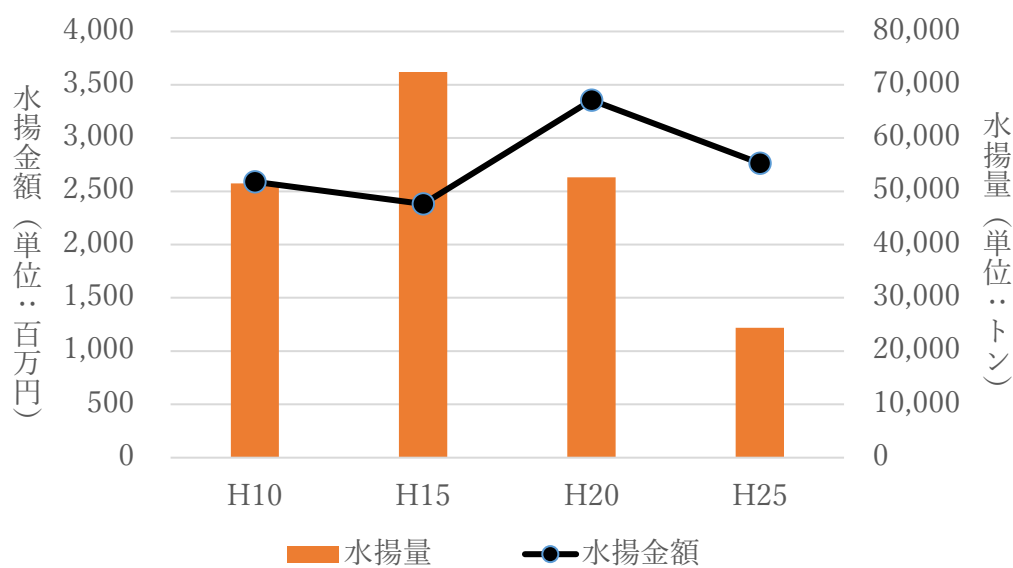
さらに、内水面漁業としては、主な河川の栗山川、南白亀川では共同漁業権に基づくコイ、フナ、ウナギなどの採捕、南白亀川、一宮川では区画漁業権に基づくアオノリ養殖が行われています。また、遊漁者等によるレジャー活動、河川管理者による利水・環境保全等、様々な人々によって利用されています。

一方、広大な九十九里浜を有する当地域では、漁業のほか海水浴やサーフィン、遊漁等、海辺での体験型の観光をはじめとする多彩な観光資源を有しています。

### (2) 九十九里地域水産業の構造

#### ①生産量・生産金額

九十九里地域の水揚げは主に飯岡漁港及び片貝漁港で行われており、漁港水揚金額(属地)は20億円から35億円の範囲で増減しています。漁港水揚金額はまき網漁業によるイワシ類と貝桁網漁業によるチョウセンハマグリにより多くを占められています。

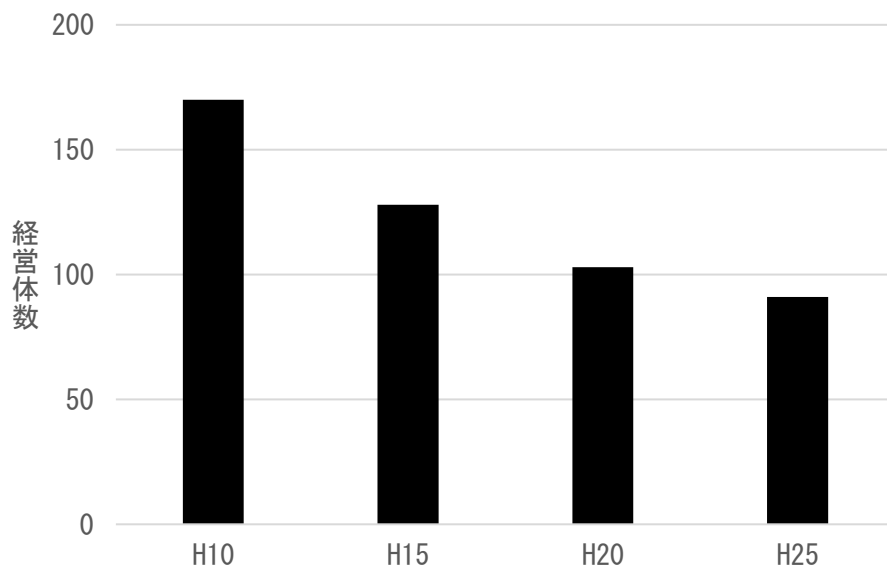


資料：漁港港勢

図 漁港水揚量・金額（九十九里地域）

## ②漁業経営体数

九十九里地域の海面漁業経営体数は地元の漁業者の高齢化や後継者不足により年々減少しており、平成10年は170経営体でしたが、平成25年には91経営体と減少しています。



資料：漁業センサス

図 海面漁業経営体数（九十九里地域）

### ③生産基盤の状況

九十九里地域は九十九里浜に面する旭市から一宮町の4市4町1村から構成されます。地域内の漁港は飯岡漁港（第1種）、栗山川漁港（第1種）及び片貝漁港（第4種）の3港です。

地域内の漁港水揚量は25,127トン（平成26年）となっており、千葉県全体の約7%を占め、銚子地域、外房地域に続く第3位です。

飯岡漁港、片貝漁港とも産地市場を有し、流通拠点漁港\*として地域水産物の水揚げ、集約が行われており、飯岡漁港、片貝漁港とも10,000トン以上の水揚量となっています。



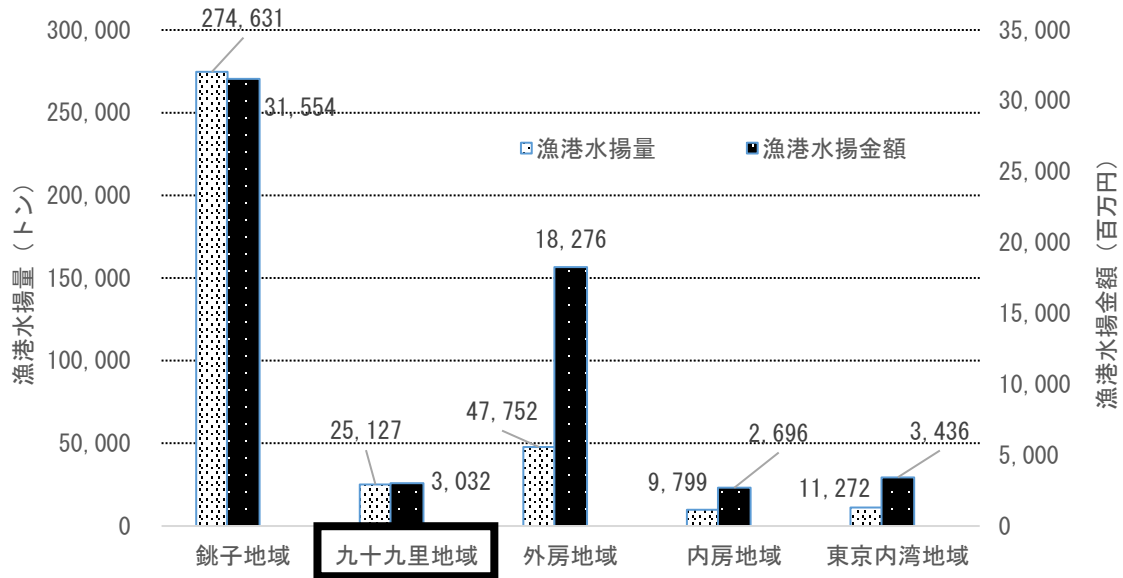
図 漁港位置図

※ 流通拠点漁港：拠点漁港は、一定の水揚げ量がある等の条件により、県が重要性、役割を考慮して設定した流通や生産の拠点となる漁港であり、流通拠点漁港、生産拠点漁港等到大別されます。

表 九十九里地域における漁港一覧

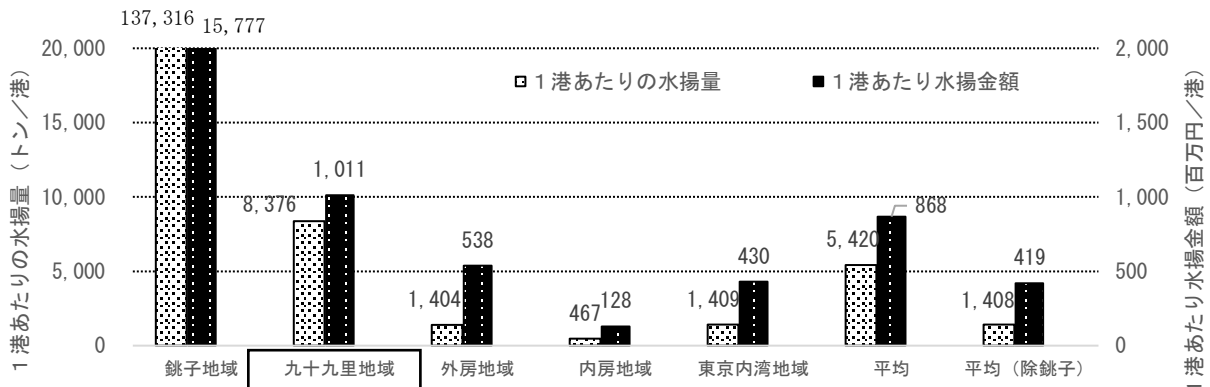
漁港名	位置	種別	管理者	漁業 協同 組合	拠点漁港			
					流通 拠点	生産 拠点	流通 輸出 拠点	防災 拠点
いとおか 飯岡	旭市	1種	千葉県	海匠	○			
くりやまがわ 栗山川	横芝光町	1種	千葉県	九十九里				
かたかい 片貝	九十九里町	4種	千葉県	九十九里	○			

1港あたりの漁港水揚量、金額で比較すると、銚子地域に次ぐ第2位です。これは、県の平均水揚量、水揚金額を上回っており、漁港の規模としては相対的に大きく、地域として集約度は高いといえます。



資料：漁港港勢  
 図 地域別漁港水揚量、金額（属地、平成26年）

両漁港とも利用隻数は100隻を超え一定の規模を維持しています。外来船の割合は20%内外となっており、地元漁業が中心としながら、地元外からの水産物の集約も行われている状況です。



資料：漁港港勢  
 図 地域別1港あたりの漁港水揚量、金額（平成26年）



### (3) 九十九里地域の現状と課題

#### ①地域の課題

九十九里沖合海域にはイワシ類が多く、古くからまき網漁業の好漁場となっています。当地域の水揚量の大半はまき網漁業によるものであり、地域の水産加工業に原料を供給するとともに、近年水揚げが増加したチョウセンハマグリと並んで水揚金額でも重要な位置を占めていることから、地域の漁業協同組合の経営安定化や地域経済に寄与しています。また、本地域の水産業は、まき網漁業や小型船漁業などが水揚げした新鮮な水産物や地域の水産加工業者による水産加工品を地域の観光イベントをはじめとして、漁協直売所や道の駅等で提供するなど地域の観光業とも連携することで地域を活性化しています。今後は東京オリンピック・パラリンピックに伴う観光客の増加が見込まれることから、地域における水産業の重要性が高まると考えられます。

しかし、地域水産業の中心となっているまき網漁業や水産加工業では、地域内外の人材の確保が他業種との競合から困難となっており、資材費の増加や水産資源の変動の影響もあって経営が不安定となっています。さらに地域にとって主要な水産資源であるカタクチイワシが減少し、本地域内で全体での水揚が減少していることから、水産加工業の原料確保や漁協経営への影響も懸念されています。

こうした地域の課題がある中、飯岡漁港及び片貝漁港については地域の流通拠点漁港として、安定的な水揚能力を確保できるよう老朽化対策等を計画的に実施する必要があります。また、安全な漁業活動を行うために、漂砂による航路・泊地埋没等へのリスク対策とともに、東日本大震災の津波被害の経験から漁港海岸について防災対策が必要です。

#### ②主要漁業等の課題

##### ア まき網漁業

まき網漁業の水揚げは当地域の総水揚量（約25千トン）の大半を占め、その漁獲物は地域の水産加工業の主原料ともなっていることから、まき網漁業は当地域における最も重要な漁業種類といえます。

当該漁業の抱える課題の一つとしては漁船の老朽化が挙げられます。一部の経営体では改革型漁船の導入や操業形態の合理化を図っていますが、依然として船齢

30年程度の漁船が3か続あり、修繕費等経費が増大しています。

また、主な漁獲物であるイワシ類資源の変動が顕著であることが課題となっています。マイワシの資源水準は中位で増加していますが、カタクチイワシは低位で減少しており、長期的に水揚げを維持するためには漁業者に情報を発信し、資源変動に応じた漁獲に努めることが重要です。

## イ 小型船漁業

小型船漁業では主に貝桁網漁業によりチョウセンハマグリを漁獲していますが、定着性資源であるため安定的な利用が図られるよう資源管理の取組が重要となっています。

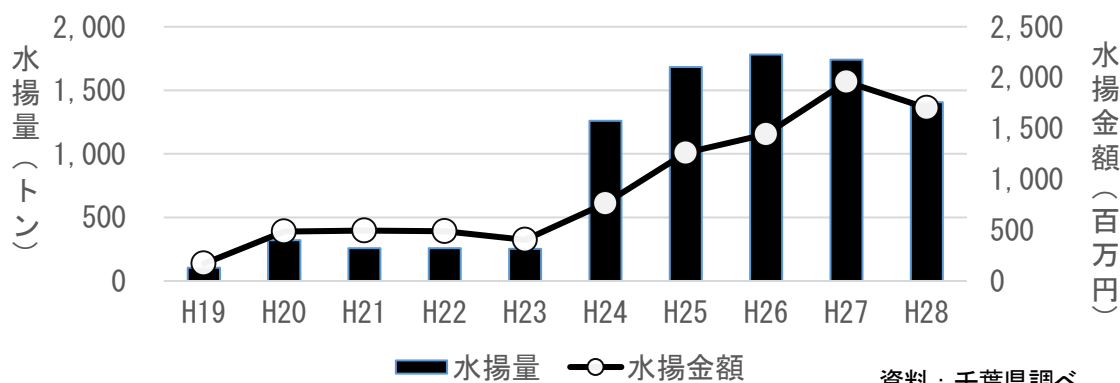


図 チョウセンハマグリの水揚量の推移

当地域では漁業者と行政、試験研究機関が連携して九十九里貝類高度資源管理指針を策定して資源管理に取り組んできたことから、チョウセンハマグリ的好調な水揚げが続いていますが、近年は資源が減少傾向にあることから、チョウセンハマグリを将来にわたって持続的に水揚げしていくために、資源変動に対応した指針の見直しが求められます。

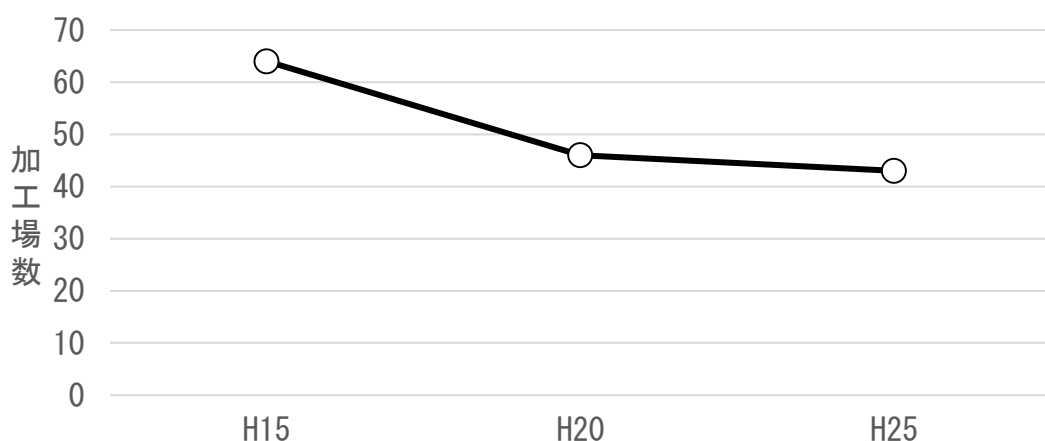
さらに、安定的な漁業経営のためには、水揚のプール制による共同操業を継続することやダンベイキサゴやサトウガイ等の貝類資源も有効に利用することが効果的です。

また、さし網漁業、船びき網漁業、小型底びき網漁業等についても、総じて経営体数の減少、水産資源の減少による水揚の伸び悩み等の課題となっています。

## ウ 水産加工業

当地域の水産加工業の加工場数は95のうち塩干品が37、煮干し品が36となっており、主にイワシを原料とした加工業が多く営まれています。中でも煮干し品については、県内の加工場数の84%が当地域に集中しています（平成25年漁業センサス）。当地域の煮干し品は大網白里市を中心として県内有数の生産地となっており、原料となる品質の高いカタクチイワシの確保を必要としています。

当地域の水産加工業は小規模な経営体が多く、仕入れコストの削減や品質の良い加工品作りに鮮度が良く品質の高い前浜で水揚げされた生原料を必要とするため、イワシ類資源の変動による不安定な原料確保が課題となっています。



資料：漁業センサス

図 県内の煮干し品の加工場数の推移

経営に関しては、資材費、電気料等が値上がりしている一方で、水産加工品消費の減少から価格の大幅な上昇は見込めず、厳しい状況にあります。

## エ 内水面漁業

栗山川及び南白亀川で種苗放流による資源増大対策を行っていますが、生息環境の変化等の理由から生産量は減少しています。

南白亀川や一宮川ではアオノリ養殖を行っていますが、採苗期の高水温等の環境変化や漁場への砂の堆積等の影響により生産量が激減しています。

また、組合員が高齢化により減少傾向にあることから、組合運営の基礎となる賦課金や行使料も減少しており、厳しい経営となっています。

### 3 基本方針

#### (1) 九十九里地域の振興方針

九十九里地域の水産業の活力を維持していくために、資源変動に対応し、資源管理や栽培漁業、漁業秩序の維持等により水産資源の維持・増大等を図るとともに、地域内外から水産業の担い手の確保・育成を図ります。

漁業や水産加工業の収益力を向上し、地域漁村を活性化するため、漁業の効率的な操業を支援するとともに、ブランド化や6次産業化による付加価値向上や販売促進を推進します。

漁業者が安心して操業を続けられるよう、漁業協同組合の安定した経営の維持を図るとともに、漂砂対策や老朽化対策などの計画的な漁港整備、漁港海岸の防災対策を推進します。

#### (2) 主要漁業等の振興方針

##### ア まき網漁業

当地域の中心的役割を担っているまき網漁業の収益力を向上させるため、協業化による操業の合理化・効率化が進められていることから、今後は漁獲物の高付加価値化等を推進します。

また、主要な漁獲対象であるイワシ類等の多獲性魚<sup>※</sup>の資源変動に対しては、地域の集団操業指導調査船「くろしお」と連携しながら漁海況情報の発信を行い効率的な操業を支えます。

※ 多獲性魚：イワシ、アジ、サバ、サンマ等のまき網等で一度に大量に獲れる魚。

##### イ 小型船漁業

貝桁網漁業については、九十九里地域の貝類資源の持続的な操業体制を構築するために、九十九里貝類高度資源管理指針の見直しを推進するとともに漁業者自らが行う稚貝保護や操業ルール等の取組の支援や漁業権管理に関する適切な指導等を

実施していきます。チョウセンハマグリではブランドの知名度を高めて魚価の向上と消費の拡大を図るとともに、ダンベイキサゴについては、種苗放流の実施を支援し貝類資源の有効利用を図ります。

さし網漁業、船びき網漁業や小型底びき網漁業等については、種苗放流や資源管理の取組、資源状況の情報提供や直売所を活用した水産物の販売促進等を進めることにより、資源の持続的な利用や漁業収益の向上を目指すことで、漁業経営の健全化を図るとともに担い手対策も進めます。

## ウ 水産加工業

煮干し品を始めとする水産加工品に必要な鮮度が良い品質の高い原料を安定的に調達するため、安定的な水揚供給能力のある漁港の整備を進めるとともに、まき網漁業における高鮮度水揚の取組を推進することにより品質の高い原料確保を図ります。

消費者ニーズに応じた新たな水産加工品の開発や加工原料の転換等を図る加工業者を支援するとともに、市場や水産加工場への衛生管理の指導やHACCP※義務化に向けた取組を支援し、水産加工業の経営の安定を図ります。

また、水産加工品の消費拡大を図り、水産加工業者の経営安定化を図るため、全国に誇りうる県産の水産加工品を千葉ブランド水産物として認定し、県産水産物全体のイメージアップを図ります。

※ HACCP: Hazard Analysis and Critical Control Point 略で、原材料の受け入れから最終製品までの各工程ごとに、微生物による汚染、金属の混入などに危害要因を分析した上で、危害の防止につながる特に重要な工程を継続的に監視・記録する工程管理システムです。食品安全の管理方法として世界的に利用されています。

## エ 内水面漁業

内水面漁業については、フナやウナギ等の種苗放流を支援するとともに、アオノリ生産の回復に向けた技術指導に取り組み、内水面漁業の振興を図ります。

また、漁業者や河川管理者との連携により漁場改善に向けた取組を進めるとともに、遊漁の振興等により川の恵みを活かした内水面漁業の振興を図っていきます。

## 4 主要施策による地域の主な取組

### (1) 水産資源の適切な管理と維持増大

#### ア 水産資源の適切な管理

- ・ 地先に生息する定着性の資源であるチョウセンハマグリ等の貝類資源の安定的な利用が図られるよう、状況に合わせた九十九里貝類高度資源管理指針の見直しの検討や漁業権管理を指導します。
- ・ 重要水産資源については、科学的知見をもとにした資源管理措置を実施するとともに、資源管理の取組への評価・検証を行い、PDCAサイクルによる管理計画の見直しを行うなど、資源管理の高度化を漁業者・研究機関・行政などが一体となって推進します。
- ・ 九十九里地域のまき網漁業においては漁業制度の適正な運用の下、イワシ類等を対象に漁獲可能量制度<sup>※</sup>に基づく資源管理を指導します。
- ・ まき網漁業、船びき網漁業、刺網漁業及び小型底びき網漁業では漁業者の自主的な資源管理計画が策定されており、資源管理の効果を発揮させるため資源管理措置の遵守が求められることから、取組の履行確認や公的規制の遵守を指導します。
- ・ 九十九里地域では多くの漁業者、遊漁者が存在することから、資源が適切に利用されるよう漁業秩序を維持するため、公的規制の監督・指導を行うとともに、ルールの理解を促す立て看板の設置等により海面利用調整を図ります。

※ 漁獲可能量制度：魚種ごとに年間漁獲量の上限を定めて資源の維持・回復を図る制度で、本県ではサンマ、マアジ、マイワシ、サバ類、スルメイカを対象としています。

#### イ つくり育てる漁業の推進

- ・ 第7次栽培漁業基本計画に基づき、マダイ及びヒラメの種苗を銚子・九十九里地域栽培漁業推進協議会と協力して育成・放流し、資源の維持・増大を図ります。
- ・ 種苗放流と併せて効果的に水産資源を維持増大させるため、計画的な漁場整備を行います。
- ・ ダンベイキサゴについては種苗放流の実施を支援します。

#### ウ 漁場環境の変化への的確な対応

- ・ 環境変化等により減少したアオノリ養殖の生産量を回復させるため、状況に応じた養殖技術を指導します。

- ・ 海上風力発電施設を活用した水産振興対策の導入などについては、国のガイドラインに基づき市町村と連携して対応します。

## エ 河川・湖沼での特色ある水産業の展開

- ・ 内水面漁業においては、栗山川及び南白亀川への種苗放流に対する支援を行うとともに、漁場等の調査や増殖技術の指導、魚類防疫体制の確保等により水産資源の維持・増大に努めます。
- ・ 内水面水産資源の生育に必要な河川流量・水質及び環境の改善に向けて、水産面からの技術的な助言を行うなど、内水面水産資源の育成に資する森林や河川整備等の推進を図ります。

## (2) 収益性の高い漁業経営の推進

### ア 効率的な生産体制の構築による漁業の収益力の強化

- ・ まき網漁業ではコンテナバックによる高鮮度イワシの利用促進により漁獲物の高付加価値化や水産加工業者と連携した地域特産ブランド加工品の開発の取組を推進します。
- ・ まき網漁業では、経営の安定化を図るため、漁業経営改善計画の策定等を支援します。
- ・ 小型船漁業については、収益力の向上や経営の安定化を図るため、千葉ブランド水産物として認定されている「九十九里地はまぐり」のPR活動等による付加価値向上や販売促進等の取組を支援するとともに、チョウセンハマグリ共同操業による操業の合理化・効率化を推進します。

### イ 効率的で安全な操業を支える情報提供の充実・強化

- ・ 漁船漁業の効率的な操業支援のため、漁業調査船等による海洋環境調査を実施し、地域の集団操業指導調査船「くろしお」と連携して漁場形成予測情報を提供するとともに、安全操業を確保するため、水産情報通信センターから海洋気象情報や緊急に周知が必要な航行警報等の情報を提供します。

### (3) 流通拠点の整備とマーケット需要を捉えた水産加工の推進

#### ア 流通拠点の機能強化

- ・ 流通拠点漁港である飯岡漁港、片貝漁港は、近隣漁港の漁船も水揚げを行う九十九里地域のまき網漁業、採貝の水揚拠点となっており、本県水産業の重要な位置を占めています。このため、本地域ではイワシや貝類などの水揚・流通の拠点として安定的に水揚げや、漁船の準備休憩、避難機能を確保する整備を行っていきます。

#### イ ちばの水産物の魅力を伝える食育の推進

- ・ 学校等が行う料理教室に「おさかな普及員<sup>※</sup>」を派遣し、地元で獲れた魚を実際に調理して味わってもらい魚食普及や食育を推進していきます。
- ・ 魚価の向上や消費拡大のため、九十九里地域で「千葉ブランド水産物」として認定されている生鮮水産物の「九十九里地はまぐり」、水産加工品の「九十九里いわしのごま漬」、「いわし野菜漬」、「九十九里かねとの煮干し（青口・白口）」、及びふるさと品の「九十九里焼き田作り」について、生産者と連携しながら重点的にPRします。

※ おさかな普及員：千葉県産水産物の消費拡大及び魚食普及を推進するため、県内各地で多様な活動に積極的に取り組んでいる方を千葉県シーフード普及促進協議会が認定しています。

#### ウ マーケット需要に対応した水産加工の推進

- ・ ニーズに応じた新たな水産加工品の開発や加工原料の転換等を図る加工業者を支援するとともに、市場や水産加工場への衛生管理の指導やHACCP義務化に向けた取組を支援します。
- ・ 高品質な水産加工製品の供給を支えるため、水産加工における品質管理について、改善指導等の技術支援をします。

### (4) 国内に向けた県産農林水産物の魅力発信と需要拡大

#### ア 県産水産物の高付加価値化の推進

- ・ 九十九里地域の重要な資源であるチョウセンハマグリでは漁獲サイズの規格の厳密化により、「九十九里地はまぐり」として千葉ブランド水産物の認定を受けて



おり、積極的にPRすることで知名度の向上を図ります。

#### イ 水産業の経営の多角化を進める6次産業化の推進

- ・ 銚子・九十九里地域における漁協直売所間で情報を共有化し、販売体制を強化・充実させる取組に対し支援します。
- ・ 魚価の向上のため、チョウセンハマグリ等の地域資源を生かした加工品の製造、販売や直売所等の6次産業化の取組を支援します。

#### (5) 千葉が誇る農林水産物の輸出促進

- ・ 今後のHACCP義務化への対応を支援し、品質・衛生管理を向上させ、国内外に通用する水産加工業を推進します。

#### (6) 東京オリンピック・パラリンピック大会への対応

##### ア 水産物調達基準への対応支援

- ・ 東京オリンピック・パラリンピックにおける水産物調達基準へ対応するため、資源管理計画等への参加を推進するとともに漁業者や漁業協同組合等による水産物エコラベル認証\*の取得に係る取組を支援します。
- ・ 東京オリンピック・パラリンピックに伴い増加が見込まれる国内外の観光客への水産物等のPR活動を推進します。

※ 水産エコラベル認証：漁業規則を守り、水産資源の持続的利用を図って、環境にも配慮した漁業を認証する制度です。

#### (7) 次代の農林水産業を支える多彩な経営者の育成

##### ア 担い手の確保・育成に対する取組の充実・強化

- ・ 国や県の就業フェアにおいて、漁業者と漁業就業希望者とのマッチングを行い、担い手の確保を図っていきます。
- ・ 高校生を対象にまき網漁船等でインターンシップを実施し、漁業体験を通じて将来の漁業就業者の確保を図っていきます。また、「銚子・九十九里地域水産業就職促進協議会（事務局：銚子商業高校）」で関係者間の情報共有を図り、積極的な応募

を促すなど高校とも連携した取組を行います。

- ・ 新たに漁業就業を目指す人たちには、長期・短期漁業研修を活用して漁業に定着できるよう支援します。九十九里地域では就業後の生計が比較的立てやすいまき網漁船への雇用就業を促進するとともに、将来的に小型船漁業での独立も視野に入れながら県と国の事業を活用して支援します。
- ・ 地域のリーダー候補となる意欲のある中核的な漁業者が将来に渡って希望をもって操業できるよう漁船の更新等を支援するとともに、漁業士<sup>※</sup>として認定し、その活動を支援します。
- ・ 漁業における女性活躍を推進するため、操業の安全に取り組むライフガードレディースとして委嘱した女性の活動を支援します。
- ・ 行政（県・市）、漁協、水産加工協、教育機関で構成される銚子・九十九里地域水産業就職促進協議会を活用して情報の共有を図るなど、漁業、水産加工業への地域内外の人材の確保の促進を図ります。

※ 漁業士：地域において漁業に積極的に取り組んでいる優れた漁業青年を「青年漁業士」、優れた漁業経営を行い、漁村青少年の育成に指導的役割を果たしている者を「指導漁業士」、漁業に従事する女性であって漁村女性の集団活動に積極的に参画している者を「女性漁業士」として、県が認定している。

## イ 漁協等の経営の健全化対策

- ・ 安定した漁協経営を維持するため、バランスの取れた一定の自港水揚の確保の取組を推進します。
- ・ 内水面漁協や地元市による遊漁情報等のPRを支援することにより地域資源としての遊漁を振興し、県民が自然と親しむ機会の増加に努めるとともに、振興に伴い増加する遊漁料収入により内水面漁協の経営安定化を図ります。

## (8) 生産性の向上や産地間競争力の強化に向けた生産基盤及び災害に強い農山漁村の整備

- ・ 流通拠点漁港である飯岡漁港、片貝漁港は、近隣漁港の漁船も水揚げを行う九十九里地域のまき網漁業、採貝の水揚拠点となっており、本県水産業の重要な位置を占めています。このため、本地域ではイワシや貝類などの水揚・流通の拠点として

安定的に水揚げや、漁船の準備休憩、避難機能を確保する整備を行っていきます。

- ・ 本区域は沿岸漂砂による航路・泊地の埋没のために安全な出入港や水揚作業に支障をきたしている状況もあるため、効果的な埋そく対策に取り組みにより安全で効率的な漁業活動の確保に努めます。
- ・ 東日本大震災で津波被害を受け、漁港施設及び背後地に被害の発生した栗山川漁港、片貝漁港は防潮堤の整備を基本とした防災対策を進めます。
- ・ 他の地域と同様に優先度を考慮した老朽化対策を実施し、漁港維持コストの平準化を図ります。

表 九十九里地域の各漁港における施策一覧

漁港			主要な施策	
飯岡	第1種	流通拠点 漁港	競争力強化、 機能保全	老朽化対策、浚渫
栗山川	第1種		防災	防潮堤
片貝	第4種	流通拠点 漁港	競争力強化	防砂提築造
			防災	防潮堤
			機能保全、防災	老朽化対策、浚渫

#### (9) 安全・安心な農林水産物の供給と環境保全への対応

- ・ 漁協直売所、水産物販売事業者等の扱う地域の水産物や水産加工品の信頼性を確保するため、適正表示の啓発・指導を行うとともに、食品表示に関する窓口において寄せられる相談に対応します。
- ・ 当地域においてはチョウセンハマグリを対象に人に中毒症状を引き起こすことのある貝毒（麻痺性、下痢性）について検査及び原因となるプランクトンの調査を実施し、速やかな情報提供を行うなどの対応をしていきます。

#### (10) 農山漁村の多面的機能の維持・発揮

- ・ 内水面漁業が有する多面的機能発揮のため、漁業者と地域住民等が連携して行う生態系の維持・保全活動等の取組を支援します。

## (11) 地域資源を活用した都市と農山漁村の交流と6次産業化の推進

- ・ 漁協直売所や道の駅を積極的に活用し、九十九里地域で水揚げされる水産物をPRして地域の魅力を発信し、観光に訪れる都市住民との交流活動を推進します。
- ・ 銚子・九十九里地域の3漁協がそれぞれ運営する3直売所を紹介するリーフレット等のPR資材の配布や各種広報媒体の活用により、直売所フェアの開催など積極的な情報発信を行います。
- ・ 内水面漁協や地元市町村による遊漁情報等のPRを支援することにより地域資源としての遊漁を振興し、県民が自然と親しむ機会の増加に努めます。

## (12) 内水面の有する多面的機能を活用した地域の振興

### ア 内水面漁業を生かした地域の振興

- ・ 内水面漁業においては、栗山川及び南白亀川への種苗放流に対する支援を行うとともに、漁場等の調査や増殖技術の指導、魚類防疫体制の確保等により水産資源の維持・増大に努めます。
- ・ 内水面漁協や地元市町村による遊漁情報等のPRを支援することにより地域資源としての遊漁を振興し、県民が自然と親しむ機会の増加に努めるとともに、振興に伴い増加する遊漁料収入により内水面漁協の経営安定化を図ります。

### イ 内水面における漁場環境改善の推進

- ・ 内水面水産資源の生育に必要な河川流量・水質及び環境の改善に向けて、水産面からの技術的な助言を行うなど、内水面水産資源の育成に資する森林や河川整備等の推進を図ります。

### ウ 内水面の多面的機能を生かした地域振興に向けた各種施策の推進

- ・ 内水面漁業が有する多面的機能発揮のため、漁業者と地域住民等が連携して行う生態系の維持・保全活動等の取組を支援します。